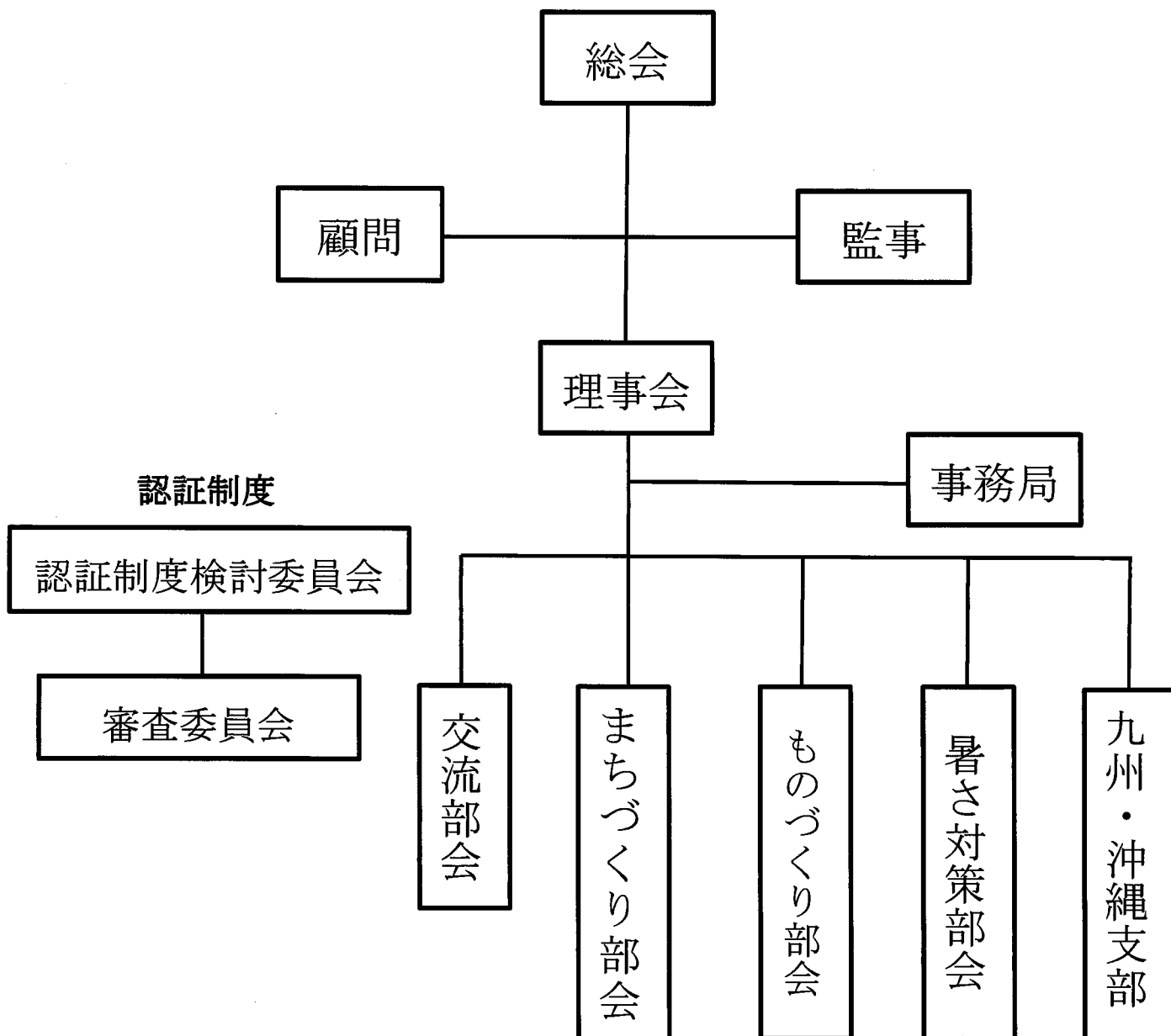


2021 年度事業報告

1. 組織

一般社団法人日本ヒートアイランド対策協議会 組織図



## 2. 役員構成

### 一般社団法人日本ヒートアイランド協議会役員名簿

#### [役員名簿]

役職	氏名	担当
代表理事	高橋 利郎	全般
副代表理事	池ノ谷 静一	全般・暑さ対策部会
監事	高田 美士男	
理事	鶴見 哲	ものづくり部会
理事	近藤 智寛	まちづくり部会
理事	松田 祐介	交流部会
理事	辻村 栄輔	九州・沖縄支部長
理事	松山 寛行	九州・沖縄副支部長
理事	佐東 公裕	暑さ対策部会
参与	佐藤 太元支	まちづくり部会
参与	石川 俊樹	ものづくり部会
参与	鈴木 芙美恵	ものづくり部会
参与	岡本 真奈美	全般
事務局長	山田 渉	全般

#### [事務局名簿]

役職	氏名	担当
事務局長	山田 渉	全般
事務局	浅成 育代	会計
事務局	岡本 真奈美	全般

#### [顧問名簿]

役職	氏名	
顧問	藤本 英子	京都市立芸術大学教授

## 認証制度

### [検討委員会]

役職	氏名	
委員長	内藤 克彦	京都大学特任教授
副委員長	真継 博	低炭素未来都市づくりフォーラム 理事兼事務局長
委員	近藤 靖史	東京都市大学教授
委員	持田 灯	東北大学教授
委員	足永 靖信	国土交通省

### [審査委員会]

役職	氏名	
委員長	内藤 克彦	京都大学特任教授
副委員長	真継 博	低炭素未来都市づくりフォーラム 理事兼事務局長
委員	近藤 靖史	東京都市大学教授
オブザーバー	田坂 太一	建材試験センター環境グループ統 括リーダー代理

## 3. 会員構成 (12月末現在)

正会員	40社	
	(前年末40社	入会1社 退会1社)
賛助会員	2社	
特別会員	6社	
合計	48社	

# 2021 年度活動実績

2021 年度は「リモート」をスローガンとして、今まで出席のいただけなかった会員様・ご支援を頂いております皆様方と、リモートによる意見交換なども進め、全国各地の会員様と交流を図り、また、リモートによる勉強会や情報交換により、会員同士の連携・活用・協力を深め、コロナ禍をチャンスととらえ活動を進めて参りました。

各部会の計画においては、コロナ禍の影響により、展示会の中止、勉強会の延期等で計画通り進まない結果となってしまいましたが、リモートによる勉強会の開催、認証審査会の開催ができました。

- 1月14日 理事会 リモートにて  
認証制度について  
各部会活動について  
総会の準備
- 2月26日 理事会 リモートにて  
認証制度について  
各部会活動について  
総会の準備
- 3月18日 総会  
WEB 会議にて
- 4月20日 理事会 リモートにて  
展示会について、今後のスケジュール  
各部会活動について他
- 4月から6月 展示会開催予定  
東京・福岡・大阪での展示会コロナ禍の影響により中止
- 5月20日 東京都訪問  
東京都環境局環境都市づくり課及び（公財）東京都環境公社  
へ本年度のクールスポット創出事業打ち合わせ
- 6月29日 理事会 リモートにて  
各部会活動について  
今後の事業計画について
- 8月30日 理事会 リモートにて  
各部会活動について  
今後の事業計画  
認証制度申請について

- 9月17日 **理事会** リモートにて  
コロナ禍における活動について  
各部会活動について
- 10月14日 **理事会** リモートにて  
各部会活動について  
認証制度申請受付について  
勉強会の準備
- 11月17日 **理事会** リモートにて  
各部会活動について  
認証制度申請について  
勉強会の準備
- 12月8日 **リモート勉強会**  
一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 早津講師様による  
「CASBEE-HI 勉強会」実施  
会員 35 名 特別会員 2 名 設計事務所 8 名 計 45 名参加
- 12月8日 **理事会** リモートにて  
各部会活動について  
認証制度申請について  
総会及び賀詞交歓会の開催について
- 12月20日 **審査会**  
(株)高大様 遮熱カラーゴムチップ舗装（指摘事項あり、修正後リモートにより審査会委員長が承諾ならば認証）
- 12月20日 **理事会** リモートにて  
総会の開催、賀詞交換会の開催について  
コロナ禍における来年度の計画 他

第2号議案

一般社団法人 日本ヒートアイランド対策協議会

2021年度決算報告

自 2021年1月1日

至 2021年12月31日

収 入		支 出	
項 目	金 額 (円)	項 目	金 額 (円)
繰越金	2,082,817	事務局費	0
正会員会費		会議費	0
入会金 30,000円×1社	30,000	顧問謝礼	75,000
年会費 60,000円×0社 30,000円×1社(半期分)	30,000	総会費	0
賛助会員会費		研修会・試験費	190,000
年会費(企業) 30,000円×5社	0	広告宣伝費	202,960
		行事費	0
特別会費		旅費交通費	92,400
行事費	0	接待交際費	73,463
協賛金	0	事務用品費	33,457
雑収入 認証申請費	87,000	印刷費	41,600
試験費	240,000	通信費	8,370
受取利息	17	雑費・予備費	54,830
		繰越金	1,697,754
合 計	2,469,834		2,469,834

以上のとおり報告致します。

2022年3月3日

代表理事

高橋 利郎



監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

2022年3月3日

監査役

高田 美士男



## 第3号議案

### 一般社団法人日本ヒートアイランド対策協議会

## 2022年度事業計画（案）

本年度で協議会活動は7年目を迎えます。依然コロナ禍による影響は大きく、生活環境や経済環境が大きく左右されております。

当協議会もコロナ禍による影響で活動が停滞し、各部会での活動も自粛するなかで、本年度は【組織改革】をスローガンとして各部会の組織化・事務局の組織化を重点課題として進め、協議会会員同士の積極的なビジネスにおけるコラボレーションの拡大を目指してまいります。

尚、昨年度のスローガンで掲げた「リモート」を活用して全国各地の会員様が参加できる、勉強会・情報交換等や、ホームページでの情報発信を幅広く進めて参ります。

また、コロナ禍が終息した時点において、従来のイベント活動や会員の情報交換に必要な懇親会及び勉強会等の開催を実施いたします。

#### 1. 事務局組織の構築

- \* 各部会副部会長の選定
- \* ホームページの実績更新
- \* 全国理事会議の開催
- \* 事務員の雇用
- \* 九州・沖縄支部の分割

#### 2. ヒートアイランド対策認証製品の販路開拓支援

- \* 東京・大阪・福岡・名古屋での設計会社へCDPプログラムを含めてPR。
- \* ヒートアイランド対策認証製品の認証品拡大

#### 3. ZOOMを活用した会員交流

- \* 交流会の開催
- \* 部会ごとに年2回開催
- \* 勉強会の開催

#### 4. 行政機関との連携

- \* 環境省、国交省、東京都環境局、地方自治体関連部署と連携。

## 5. ホームページの充実

\*当協議会の活動状況、会員ホームページへのリンク、認証制度状況の公表等を反映しホームページの充実化を図る。

## 6. 理事会の開催 随時 Zoom 会議にて

## 7. 各部会活動

### まちづくり部会

#### テーマ：環境・人にやさしい都市設計の推進

●CASBEE-HI の普及活動に基づいた、認証制度と認証商品の PR 活動を施主・設計事務所・コンサルタントへ行うことによって、ヒートアイランド対策に有効な商品の採用につなげ、「環境・人にやさしい都市設計」の普及に貢献する。

#### オンラインでの講習会開催

オンラインでの講習会を定期的で開催していく。

CPD プログラムの申請は継続して行い、設計士の方にも多く参加して頂き、講習とともに

に JHIC の取り組みについても認知していただく。

#### <概要>

・6月と10月の年2回開催予定。(時間は各会1時間程度)

・オンライン (Zoom) での開催予定。



・施主の方にも参加の呼びかけを行う。

・CPD プログラムの認定講習とする。

#### <会員による懇親会開催>

・講習会終了後には会員による懇親会（Zoom）を開催し、情報交換の場とする

## 暑さ対策部会

テーマ：効果的な暑さ抑制対策の普及・啓発活動

### 1. ヒートアイランド対策以外の熱中症対策分野との連携

展示会や WEB 展示会等で熱中症対策製品企業との連携先を見つけ、熱中症対策分野との融合を図り、暑さ対策の普及・啓発を進め幅広く会員の拡大を図る。

### 2. クールスポットシステムの構築

東京都環境局におけるクールスポット創出事業は昨年度にて終了。  
東京都環境局環境都市づくり課及び（公財）東京都環境公社暑さ対策緊急センターと連絡を密にして、新制度について早急に情報収集。

### 3. 展示会の実施

4月に東京・6月大阪にて展示会の出展予定、併せて各地区会員・自治体との連携推進

## ものづくり部会

テーマ：認証制度

コロナ禍における WEB を活用した認証制度

### 1、 認証審査業務の完全 Web 化

\*運用開始をした WEB 方式の認証審査を定着させる。

## 2、 認証審査対象の検討

\* 認証審査項目について新たに追加するものがないか会員企業から募集を行う。

## 3、 認証取得製品のメリットについて

\* 認証取得した製品がその後のビジネス展開において、どんな事が期待できるか認証取得企業の情報を発信する。

# 交流部会

テーマ：異業種や各分野との交流企画及び運営

## 「会員メリットの具現化」

### 1. 会員交流の活性化

### 2. 各部会とのマッチング拡大

\*昨年1年間イベントが開催できない中、オンラインでのイベント開催体制も確立し、会員の交流促進に努める。

\*認証製品の施工状況の紹介や、販売窓口の紹介、各会員の相互営業体制の確立を目指しての交流。HPの一部変更、会員間での販売機会の提供。

## 九州支部

### テーマ：支部会員の増員と支部運営

#### 2022年度 九州支部活動方針

- \* 認証品の認知度拡大と、市場への設計採用活動の展開を図る  
(遮熱塗料とゴムチップ舗装の九州バージョンのリフレットの作成をする。)
- \* 支部会員との認証制度・認証品の勉強会、交流会を開催して、  
拡販活動を行う
- \* 2年間新規入会企業の勧誘がコロナ禍の影響によりできなかつたため、  
上記の活動に合わせて新会員の加入を図る。

## 沖縄支部

### テーマ：支部会員の増員と支部運営

#### 2022年度 沖縄支部活動方針

##### 「新規会員企業との活動強化」

- \* 昨年度入会希望企業が4社(確約)あり。コロナ禍の影響により、説明会等行えず今年度に持ち越し。
- \* 事務局による新会員説明会と懇親会を行い、支部活動を進める。
- \* 支部活動として、沖縄県産材使用製品の認証品として検討を進め、SDGsとも合わせて進める。

第4号議案

一般社団法人 日本ヒートアイランド対策協議会

2022年会計予算(案)

自 2022年1月1日  
至 2022年12月31日

収 入		支 出	
項 目	金 額 (円)	項 目	金 額 (円)
繰越金	1,697,754	事務局費	200,000
正会員会費		会議費	100,000
入会金 30,000円×5社	150,000	顧問謝礼(認証関係)	90,000
年会費 60,000円×40社	2,400,000	総会費	100,000
賛助会員会費		研修会費	300,000
年会費(企業) 30,000円×3社	90,000	広告宣伝費(パンフ)	200,000
		行事費	300,000
特別会費		旅費交通費	300,000
行事費	100,000	接待交際費	100,000
協賛金	0	事務用品費	150,000
雑収入(認証申請費・試験費)	200,000	印刷費	120,000
受取利息	40	通信費	60,000
		雑費・予備費	100,000
		繰越金	2,517,794
合 計	4,637,794		4,637,794